

(13) 症例検討会（CPC）

- ① 2022年9月16日、「終末期に中枢神経浸潤を疑う所見を呈した再発難治性びまん性大細胞型B細胞リンパ腫」をテーマに症例検討会を開催した。
- ② 2023年3月17日、「IgG4関連硬化性胆管炎との鑑別に苦慮した胆管癌の一例」をテーマに症例検討会を開催した。

(14) 副院長、診療部長の交代

- ① 2022年4月1日、腎臓・高血圧内科 宮崎陽一診療部長が副院長に就任した。
- ② 2022年4月1日、皮膚科 伊藤寿啓診療部長が選任された。
- ③ 2022年7月1日、耳鼻咽喉・頭頸部外科 志村英二診療部長が選任された。

(15) 表彰

- ① 2022年12月21日、文部科学省 医学教育等関係業務功労者表彰（管理課営繕係菅嶋浩一）
- ② 2023年3月13日、東京消防庁 消防総監表彰（防火管理者）（管理課長曾根田明弘）

(16) 行事関係

- ① 2022年7月1日に開催予定であった第三病院納涼会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ② 2022年10月27日、2023年度臨床研修医のマッチングは定員18名に対し18名の応募があり、マッチング率が100%となった。
- ③ 2022年12月2日に開催予定であった第三病院忘年会は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ④ 2023年3月25日、臨床研修医修了式を挙行了した。

(17) 第三病院リニューアル事業

- ① 新病院リニューアル事業組織体制の変更について2022年度から、実施設計を推進する体制として、フロア毎の機能別WGと各フロアの部門ヒアリングを連携させ、その検討結果を新第三病院建設プロジェクト委員会がとりまとめる体制に再編成しスタートした。
- ② 2022年4月から、鹿島建設（株）と設計・工事請負契約を締結した。
- ③ 鹿島建設（株）にて4月から実施設計を開始し、3号館増築棟は2022年10月に完了した。また、新本館棟は2023年12月に間仕切を確定し、5月までに完了する予定である。
- ④ 建物アウトライン・面積について、新本館＋3号館増築棟＋既存3号館の面積を基本設計47,773㎡から49,110㎡に変更した。なお、手術棟（2,000㎡）は、地域貢献スペース（ジョブセンター等）として改修し、活用する計画とした。また、病棟閉鎖のリスクから守るため、各一般病棟に前室付陰圧室を2室、簡易陰圧室を1室配置する。7階の病棟をパンデミック時に感染専用病棟として段階的に、フレキシブルな感染ゾーニングによる運用ができるように設計することとした。
- ⑤ 施工計画の進捗について、2023年1月14日から、3号館増築棟工事を着工した。竣工は、2023年6月末日を予定している。
- ⑥ 2023年1月19日、3号館増築敷地内において、理事長、学長が参列し神事を執り行った。
- ⑦ 「東京都中高層建築物の建築に係る紛争の予防と調整に関する条例」及び狛江市、調布市の条例に基づく「開発事業」による近隣住民説明会を2022年8月10日（水）に、調布市の条例に基づく「大規模開発事業」による土地利用構想に関する近隣住民説明会を2023年2月17日（金）に開催した。

(4) 柏病院（院長：吉田 博、
副院長：郡司久人、曾雌 茂、長谷川讓、西脇嘉一、
事務部長：相馬陽一）

(1) 患者数・病床稼働率・患者紹介率等

- ① 一日平均外来患者数：1,351名（前年度比－31名）
- ② 一日平均入院患者数：454名（前年度比－15名）

- ③ 病床利用率：稼働床664床に対して68.4%（前年度70.7%）
- ④ 平均在院日数：13.0日（前年度12.6日）
- ⑤ 患者紹介率：医療法80.4%、保険法78.6%
- ⑥ 逆紹介率：71.6%

(2) 保険関係承認・届出関係

1) 施設基準に係る届出（新規及び加算内容の変更等）

① 2022年4月1日付

- ・新規 急性期充実体制加算
- ・新規 重症患者初期支援充実加算
- ・新規 病棟薬剤業務実施加算 1
- ・新規 外来腫瘍化学療法診療料 1
- ・新規 連携充実加算（外来腫瘍化学療法診療料）
- ・新規 癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）
- ・新規 角結膜悪性腫瘍切除手術
- ・新規 緑内障手術（流出路再建術（眼内法））
- ・新規 緑内障手術（濾過胞再建術（needle法））
- ・新規 経外耳道的内視鏡下鼓室形成術
- ・新規 経鼻内視鏡下副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）
- ・新規 胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）
- ・新規 腹腔鏡下リンパ節郭清術（側方）
- ・新規 腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）
- ・新規 内視鏡的小腸ポリープ切除術
- ・新規 ハンナ型間質性膀胱炎手術（経尿道）
- ・新規 腹腔鏡下子宮瘢痕部修復術
- ・追加 急性期看護補助体制加算（看護補助者 5 割以上）
（夜間100対1、夜間看護体制加算追加）
- ・変更 後発医薬品使用体制加算 3（加算 2 から 3 へ区分変更）
- ・再届 BRCA 1 / 2 遺伝子検査（腫瘍細胞・血液）
- ・辞退 総合入院体制加算 2（急性期充実体制加算届出のため）
- ・辞退 後発医薬品使用体制加算 2

② 2022年5月1日付

- ・新規 全視野精密網膜電図

③ 2022年6月1日付

- ・新規 腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
- ・新規 腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- ・新規 腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
- ・新規 腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- ・新規 腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））
- ・新規 腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））
- ・変更 ハイケアユニット入院医療管理料 1（4床から10床へ病床数変更）

④ 2022年7月1日付

- ・新規 腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

⑤ 2022年8月1日付

- ・新規 腹腔鏡下直腸切除・切断術（切除術、低位前方切除術及び切断術に限る。）
（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ・新規 腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）
- ・新規 腹腔鏡下腎盂形成手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）

- ⑥ 2022年9月1日付
 - ・新規 腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
 - ・新規 二次性骨折予防継続管理料1
 - ・追加 小児入院医療管理料2（養育支援体制加算の追加）
- ⑦ 2022年10月1日付
 - ・新規 看護職員処遇改善評価料64
 - ・新規 ウイルス疾患指導料（注2に規定する加算）
 - ・追加 急性期看護補助体制加算（看護補助体制充実加算の追加）
- ⑧ 2022年12月1日付
 - ・新規 センチネルリンパ節加算（皮膚悪性腫瘍切除術）
 - ・辞退 内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）
- ⑨ 2023年1月1日付
 - ・新規 腹腔鏡下腭体尾部腫瘍切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
 - ・新規 周術期栄養管理実施加算
 - ・新規 ウイルス・細菌核酸多項目同時検出
 - ・変更 医師事務作業補助体制加算1（30対1から25対1へ区分変更）
- ⑩ 2023年3月1日付
 - ・新規 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）
- ⑪ 変更 麻酔管理料（I）（麻酔科標榜医の変更）
 - ・2022年4月1日付 2022年6月1日付 2022年7月1日付 2022年8月1日付
 - ・2022年9月1日付 2022年10月1日付
- (3) 診療体制
 - ① ロボット支援手術の術式拡大について
Da Vinci Xiによるロボット支援下手術の術式拡大を推進し、9件の新規申請を行った。
 - ② ポストサージカルHCUの設置、稼働について（4H病棟）
ICUの適正且つ効率的な運用を保つため、4A病棟の1室を4H（HCU）に改修し、2022年5月16日より4H病棟として運用を開始した。
 - ③ 全身麻酔手術の各科対応について
麻酔科医の人員不足による手術枠制限を解消することを目的に、一部の術式において、所定の研修を修了した医師による全身麻酔手術施行の運用を、2022年7月12日より開始した。
 - ④ 集中治療部の設立について
2022年10月1日に集中治療部を設立した。
 - ⑤ 臨床倫理事例への対応力強化のため、「慈恵医大臨床倫理を学ぶ会」柏病院勉強会をリモートにて開催した。
第1回 2022年11月15日 第2回 2023年3月21日
- (4) 成医会柏支部例会
7月2日および12月3日に柏支部例会を開催した。なお、12月3日開催は、感染拡大対策として密を避け、イントラネットに掲載した。
- (5) 症例検討会（CPC）
第51回 2022年11月25日『咽頭癌治療後に呼吸不全が遷延した1症例』
- (6) 指導・監査
 - ① 柏市保健所による令和4年度医療機関立入検査（医療監視）は、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ書類提出を主として2022年10月31日に行われ、指導・改善事項はなかった。

- ② 会計検査院による各種補助金を対象とした会計検査実地検査が2023年2月16日に行われ、指導・改善事項はなかった。
- ③ 監査法人トーマツによる往査が2023年3月6日から8日、3月31日から4月1日に行われ、指導・指摘事項はなかった。
- (7) 個人情報保護関連
 新型コロナウイルス感染拡大防止に鑑みて、e-ラーニングシステムを用いた研修会を実施
 研修テーマ：「医療現場における個人情報の取扱い」
 受講期間：2022年9月1日～2023年7月31日
- (8) 地域がん診療連携拠点病院
 2022年度の患者数および講演会等の開催については次の通りである。
 外来患者延べ患者数：82,667名、入院患者実患者数：3,146名、がん登録件数：2,151名
 緩和ケアチーム介入件数：210件、公開講座、がん講演会、がん・緩和ケア交流会(患者交流会)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、リモート形式にて開催した。
- (9) 地域医療支援病院(医療連携)
 東葛北部二次医療圏内の医師会、歯科医師会、行政機関(市役所、保健所、消防署)、近隣連携医療施設から外部委員を選出したうえ、地域医療支援病院運営委員会を以下の日程にてリモート形式で開催し、地域医療に係る検討及び意見交換を行った。
 第1回 開催日：2022年9月9日
 第2回 開催日：2023年2月24日
- (10) 東葛北部地域難病相談支援センター事業
 千葉県難病相談支援センター事業実施要綱に基づき県からの委託事業として平成17年度より受託開始し、必須とされる7事業を運営している。栄養部・リハビリテーション科・看護部の協力を得て嚥下調整食の作り方動画を作成、ホームページに掲載し、患者・家族・関係者が閲覧できるようにした。日々の相談業務は合計129件(前年比+42件)であった。
- (11) 救命救急センター
 依然として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中で、救急科と全診療科が連携し、当院における救急診療体制の維持に努めた。また、救急受入要請に対する応需不可案件について、毎朝医師と看護師で検討会を実施するとともに、各診療科へフィードバックを行い、救急患者の受入体制の強化を図った。救急室の救急受入要請コールは、一次・二次救急をトリアージナースが、三次救急を救急科医師がそれぞれ対応した。
- ① 救急患者数推移
 1次救急3,138名(前年度比+202名)
 2次救急2,489名(前年度比+3名)
 3次救急1,109名(前年度比+18名)
- ② 救急隊受入搬送件数
 4,165件(前年度比+30件)
- (12) 医療安全管理・感染対策
 1) 医療安全管理
 インシデント・アクシデント報告件数は2,230件であった。その他柏病院で開催した教育研修およびピアレビューの実施状況については、以下の通りである。なお、職員研修については前年度に続きeラーニングでの受講をメインとしている。
1. セーフティマネジメント基礎研修会
 2. 院内救急対応(RRS・CCOに関する活動)
 3. TeamSTEPPSエッセンシャルコース
 4. 医療機器安全講習
 5. MRI安全講習
 6. 医薬品安全管理セミナー

7. 輸血・検査に係る安全講習
 8. 「重要所見付き画像診断報告書」の運用について
 9. 終末期医療とDNARの考え方について
 10. 医療安全推進週間 2022年11月1日～14日
外部講師による講演「演題：メディアと医療安全」・附属病院医療安全管理部門によるCOVID-19に関する講演
 11. 私立医科大学附属病院相互ラウンド
2023年1月実施（メールでの質疑応答・関連資料の送付）
相手施設：日本医科大学多摩永山病院
 12. 医療安全対策地域連携加算ラウンド（チェックシートを用いた質疑応答をメールにて実施）
2022年3月実施 相手施設：北柏リハビリ総合病院
- 2) 感染対策
1. 新人教育：3回
 2. 感染対策セミナー
 - ① 感染対策基礎研修Ⅰ 1,383名参加（e-ラーニングシステム）
 - ② 感染対策基礎研修Ⅱ 1,363名参加（e-ラーニングシステム）
 - ③ 感染対策基礎研修Ⅲ 123名参加（e-ラーニングシステム）
 - ④ 各診療科における研修会（計24回）延べ228名参加
 3. 感染対策地域連携カンファレンス：4回（Web会議形式にて実施）
 4. 私立医科大学病院感染対策協議会総会（2022年7月23日 Web会議形式にて実施）
 5. 亀田総合病院相互ラウンド（訪問：2022年7月11日、受入：2022年10月31日実施）
 6. 私立医科大学附属病院相互ラウンド
2022年度における私立医科大学附属病院相互ラウンドは医療安全との共同ではなく、個々の実施となった。
2022年2月（書面形式にて実施）
相手施設：日本医科大学多摩永山病院
- 3) 医療安全・感染対策共催
1. 4病院合同セーフティマネジメントシンポジウム
 2. 附属4病院合同医療安全・感染対策相互ラウンド
柏病院受入れ：2022年2月17日（Web会議形式にて実施）
 3. 委託業者・派遣職員教育：3回（ライブ形式）
- (13) 防火・防災
- ① 防災訓練の実施
 - ・第1回消防避難訓練 2022年9月13日に1階機械室からの出火を想定した防火避難机上訓練を実施した。
 - ・第2回消防避難訓練 2023年2月14日に6B病棟給湯室からの出火を想定した防火避難訓練を実施した。
 - ・大規模災害訓練 2023年3月11日に千葉県北西部の震度5強の地震発生を想定した院内災害対策本部立上げ訓練を実施した。
- (14) 工事関係
- ① 手術室他改修に伴う心臓血管撮影室移転工事 (2022年6月完了)
 - ② 手術室他改修に伴う手術室11新設工事 (2022年8月完了)
 - ③ 手術室他改修に伴う手術室12新設工事 (2022年11月完了)
 - ④ セキュリティ設備カードリーダー交換工事 (2022年12月完了)
 - ⑤ 5・6階病棟男女トイレ改修工事 (2023年3月完了)

(15) 初期臨床研修医関連

2021年度初期臨床研修医25名の研修は修了した。2023年度研修医の採用は、医師国家試験の結果、23名（基本プログラム18名、小児科医育成プログラム2名、産科医育成プログラム1名、内科重点育成プログラム2名）を採用予定とした。

(16) 行事・その他

- ① 2022年6月、柏市地球温暖化対策条例に基づく削減計画実施状況報告書により、温室効果ガス排出量は基準年度の8,875t-CO₂に対し、2021年度8,527t-CO₂で、3.9%削減を報告した。
- ② 新型コロナウイルス感染症の影響により、病院行事は全て中止とした。

(5) 総合健診・予防医学センター

センター長	小島 博己
新橋健診センター センター長	加藤 智弘
晴海健診センター センター長	横山啓太郎

1) 2022年度実績（新橋健診センター）

年間受診者 11,212名

(内訳)

* 人間ドック	6,834名
* 入社健診	1,043名
* 定期健診	953名
* 特殊検診	1,939名
* 予防接種	261名
* その他	182名